

令和2年度《園評価・自己評価》 認定こども園 鈴ノ宮保育園

「たくましく生きる力を育む」を基に自ら考え判断する子・心身ともに健康な子・感謝と思いやりを持つ子・食べ物を大切にし、好き嫌いなく食べる子を目標に良識ある人間を育てる基礎づくりをしています。一人ひとりの育ちを大切にする教育・保育、年齢は同じであっても育ちは違い、そういった一人ひとりの育ちを大切にする教育・保育を実践しています。

○教育・保育について

コロナ禍の中0・1歳児の愛着関係を作るため、透明のマスク着用しましたが緊急事態宣言が発令され飛沫を防ぐため不織布のマスクの着用をしました。保育者の表情見せることができないままの1年間でした。この事がどのように子どもに影響するか心配でしたが、体を動かすあそびを取り入れながら子どもとの関係を密にしていくことで愛着は作れたようです。

生活習慣などの取り組みも、いつもよりは時期がずれてしまいましたが、担任の丁寧な関わりで年齢に応じて達成できたのではと思います。教育・保育の取り組みはどうしても毎年似通った物になってしまいます。新しい事に挑戦出来る機会を大切にしていきたいです。

行事が変更・短縮・保護者の参加がない中で、子ども達を直接見て頂ける機会が少なくなる中で、普段の様子を可視化し、去年以上に貼り出しする事やホームページで子ども達が楽しく参加し成長している事を理解して頂けたのではと思います。その中でも、動画の配信など取り組みを積極的に行えば良かったです。これからも柔軟に対応していきたいです。

○小学校との連携について

今年度はコロナウイルスの影響で今まで招待を頂いていた交流会がすべて中止となってしまいました。散歩のコースや指定避難場所などで小学校を通ることで小学校への興味や期待を持たせることは出来ましたが、子ども達ももっと小学校に行くことを楽しみに出来るように、写真や動画など学校に関する情報を提供すれば良かったです。

○地域交流・子育て支援

地域とはふるさと交流祭りや地域の高齢者と昔遊びなどで、小学校での交流をしていましたが中止になりました。その中でも、地域の人も毎年楽しみにしているハロウィンは、仮装し人数制限をする事で地域の方と関わる場を持つ事ができ、唯一楽しむ事が出来ました。

園庭開放は戸外のみ利用で自由に遊んでもらえるようにしました。参加者は毎回1~2組の参加者でしたが最後に「楽しめました」と、言って頂きました。色々な取り組みを状況に応じて対応できるようにしていきたいです。

地域からは、今年度も車のスピードやマナーの苦情がありました。警察の方とも相談させて頂いたり、直ぐに道に立ち車の見守りや誘導などの対応をとりましたが、毎年の課題として取りくまなければなりません。

○保護者支援・子ども支援

支援が必要な子どもや家庭には担任が一人抱え込まないように、園全体で連携することができ各機関の方にもご指導をいただき相談しながら進めていく事が出来ました。

保護者と関わるなかで、頂いた意見は職員間で共有して対応し、話し合ってきました。意見については保護者によって受け取り方が違い保護者に寄り添った対応が求められるので、保護者支援をする難しさを実感する1年でした。

○職員の資質向上について

職員の勉強会・話し合い・情報の交換などの確認は丁寧に取り組むことができました。ただ、残念ながら保護者の皆様からのご意見や苦情の対応をする中で不快な気持ちになる対応がありました保護者対応の勉強不足の面がみられたので実践を交えた勉強会を実施していきたいです。

また、研修が中止する中でオンライン研修ができる環境を整えて参加できる機会を多く作って研修に取り組みたいと思いました。

○安全への取り組み・健康について

防犯・安全については訓練を行うごとに反省点を洗い出し、毎月のステップアップをして行きました。今年度は感染対策の取り組みで、消毒の仕方や子ども達にどう安全に園で不安にならないように対応が出来たかどうか、反省する点も多くあり、次回の取り組みに活かして強化していきたいと思えます。

コロナ禍の対応で仕事の増加や不安な環境の中で職員は取り組んでくれました。行事の変更・短縮・延期する中で、どうしたら子ども達が楽しく安全に過ごすことができるかを考える機会をもつことができた年になりました。

今年度はコロナ対応に追われた1年間でした。その中でも、子ども達が色々な体験・経験を楽しめるのか、その都度職員と話し合いながら形を変えてきました。どんな時も柔軟に対応出来るだけの考え行動が大切だと実感しました。

また、保護者とのコミュニケーション・情報提供・発信の仕方など課題が生まれました。色々な意見に耳を傾けながら子ども、保護者、職員みんなが安心して過ごせる園になるよう園づくりに今後も努めていきます。

園長 中辻 美紀